

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第84期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期は3年前に策定いたしました当社グループの中期経営計画（START10）の最終年度でありましたが、当該計画期間におきましては、東日本大震災やタイの洪水などの不測の事態にもみまわれ、その達成は困難を極めました。売上の変動にかかわらず利益を出せる体質への転換を図るため、レアアースなどの高価な金属材料に焦点を当てた技術革新、購買コストダウンによる材料費削減、商流の見直し、生産性の向上、徹底的なムダの排除による固定費の削減を行ない、損益分岐点の引き下げに努めてまいりました。

当期の業績につきましては、各施策の遂行により下期業績は大幅に改善しました。また、折からの円高是正効果も利益を押し上げました。しかしながら、上期の売上低迷による営業損失を全て取り戻すまでには至らず、営業損失5億26百万円を計上しました。当期純利益につきましては4億53百万円となりました。これは4期連続の黒字であります。

配当につきましては、未だ欠損状態でありますので、誠に遺憾ではございますが、見送らせていただきたいと存じます。株主の皆様には誠に申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。

次に平成25年度の展望について申し上げます。

政府や日本銀行によるデフレ脱却に向けた大胆な経済・財政政策への期待感から円高が是正され、株価が大幅に上昇するなど景気回復の兆しはみられますものの、実体経済の回復にはまだしばらくの時間がかかるものと予想されます。

当社グループは成長のシナリオを抜本的に見直すため、平成25年度を初年度とする中期事業計画（2013 - 2015）を昨年10月に策定いたしました。この計画の狙いは、時代に求められる高効率で安全な製品の提供のため「様々な形で貢献できるエネルギーマネジメントメーカー」を目指すということです。この計画に沿いこれまで実施し、成果に結びついた各施策を継続して推し進めていくとともに平成27年度売上高1,100億円、営業利益率7%超の計画実現に向けて邁進してまいります。引き続き徹底的な経営効率化を追求し環境変化に柔軟に対応し、成長戦略を確実に成果に結びつけてまいります。

今後とも当社グループをご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月



代表取締役社長

高橋 道正